

DRIVE MONITOR 画面で見るマニュアル

ZHD シリーズ・HDJA シリーズ・HDW-UT シリーズ用 モニタリングアプリ

DRIVE MONITOR とは

対象機器のドライブ情報等のステータスが確認できるアプリです。

- ・トラブル発生時には、ポップアップで通知します。
- ・指定したメールアドレスにメールを送信するように設定することができます。
- ・本アプリと連携して NarSuS を利用することができます。

INDEX

動作環境	2
インストールする	3
状態を確認する	4
状態とその対処	6
設定する	7
RAID を変更する	9
NarSuS に登録する	11
困ったときには	17

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため、アンケートにご協力願います。

動作環境

対応 OS

Windows Server 2019
Windows Server 2016
Windows Server 2012 R2 / 2012(64 ビット版)
Windows Server 2008 R2(64 ビット版) / 2008(32/64 ビット版)
Windows Server IoT 2019 for Storage
Windows Storage Server 2016
Windows Storage Server 2012 R2 / 2012(64 ビット版)
Windows Storage Server 2008 R2(64 ビット版) / 2008(32/64 ビット版)
Windows 10(32/64 ビット版)
Windows 8.1(32/64 ビット版)
Windows 8(32/64 ビット版)
Windows 7(32/64 ビット版)
Windows Vista SP2 以降 (32/64 ビット版)

対象機器

弊社製 ZHD シリーズ 弊社製 HDJA シリーズ 弊社製 HDW-UT シリーズ
※ USB 接続時のみ

ご注意

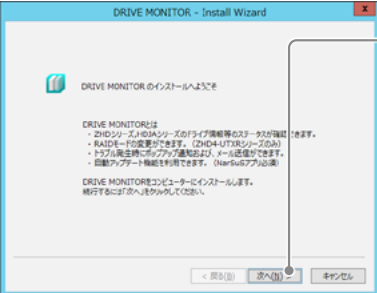
- 以下の操作をおこなう場合は、一時的に本アプリの監視処理を停止してください。以下の操作が終われば監視処理を再開できます。
※監視処理の停止方法は、【設定する】の [【\[更新間隔\] タブ】 \(7 ページ\)](#) をご覧ください。
 - ・弊社ソフト「DiskRefresher3 SE」、[I-O DATA ハードディスクフォーマッタ] をご利用になる場合
 - ・HDJA-SUT シリーズで、弊社ソフト「SHGate Service」[SHGate for HDJA-SUT] を使って初期化する場合
- 本アプリがインストールされた環境では弊社ソフト「エコ番人」の省電力機能がご利用できません。

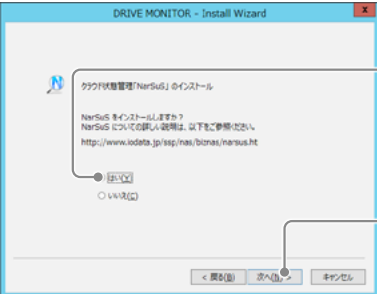
LAN DISK Z シリーズをお使いの場合のご注意

- 本アプリがインストールされた環境では ZWS Manager の省電力機能はご利用できません。

インストールする

- 1 ダウンロードしたファイル内の [Setup.exe] を実行する
※ 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、[はい] をクリックします。

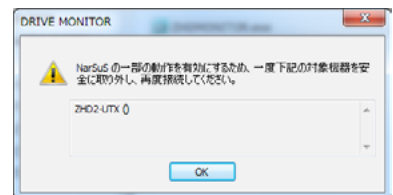
- 2  [次へ] をクリック

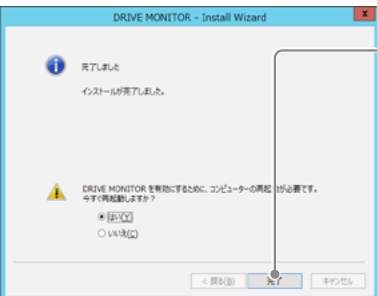
- 3  ① NarSuS に登録する場合、
[はい] を選ぶ
② [次へ] をクリック

対象機器の再接続

NarSuS の動作を有効にするため、対象機器の再接続が必要になる場合があります。

この場合は、取扱説明書に記載の取り外し手順にしたがって取り外し、再接続をおこなってください。



- 4  [完了] をクリック

NarSuS の設定について

インストール完了後に NarSuS 登録画面が表示されます。

※ NarSuS 登録については、[【NarSuS に登録する】](#) (11 ページ) をご覧ください。

以上でインストールは完了です。

再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動してください。

DRIVE MONITOR の削除方法

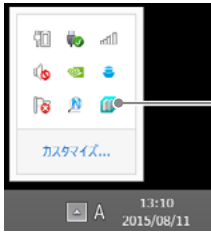
[コントロールパネル] を開き、[プログラムのアンインストール] から削除してください。

NarSuS も削除する場合は、[プログラムのアンインストール] から削除してください。

再起動が求められた場合は、再起動してください。

状態を確認する

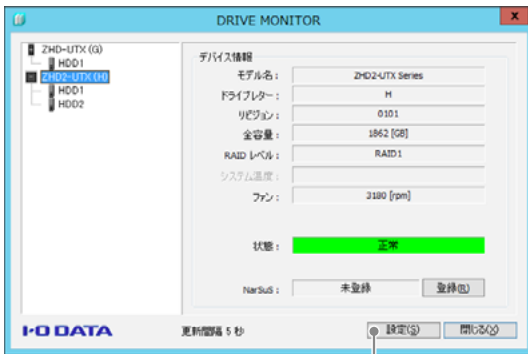
DRIVE MONITOR では、接続している対象機器の状態を確認することができます。





タスクトレイのアイコンをクリックすると表示されます。

デバイス情報

左側のツリーで選択した対象機器の状態を表示します。



※ [設定] については、[【設定する】](#) (7 ページ) を参照

モデル	モデル名を表示します。
ドライブレター	ドライブレターを表示します。 割り当てられていない場合は“?”を表示します。
リビジョン	ファームウェアのリビジョン情報を表示します。
全容量	未フォーマットの容量を表示します。(単位は GB)
RAID レベル	現在の RAID レベルを表示します。 非対応モデルでは、項目名がグレー表示になります。
システム温度	デバイスの温度を表示します。 非対応モデルでは、項目名がグレー表示になります。
ファン	ファンの回転数を表示します。(単位は rpm) 非対応モデルでは、項目名がグレー表示になります。
RAID モード変更	現在の RAID モードを変更します。  【RAID を変更する】 (9 ページ) 参照 非対応モデルでは、表示されません。
状態	デバイスの状態を表示します。 リビルド中は下に進捗が表示されます。  【状態とその対処】 (6 ページ) 参照
NarSuS	NarSuS への登録状態を表示します。 NarSuS 未登録状態の場合、[登録] ボタンを押すと、NarSuS 登録画面が表示されます。 NarSuS が未インストールまたは無効の場合は、「利用なし」と表示されます。このとき [登録] をクリックすると、Web ブラウザーが起動し、NarSuS のサイトが開きます。(インターネット接続可能な場合)

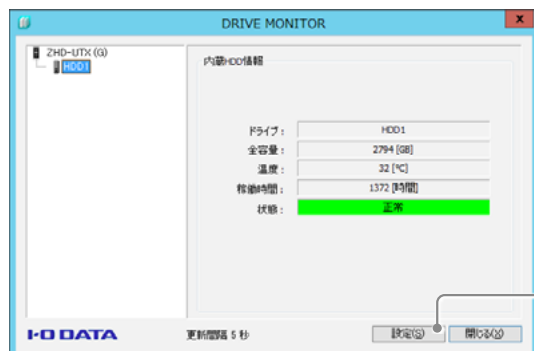
デバイスアイコンについて

アイコンの状態によってによって、デバイスの状態が分かります。

	シングルドライブモデル 正常動作
	シングルドライブモデル エラー
	RAID モデル 正常動作
	RAID モデル エラー (デグレード含む)
	RAID モデル リビルド中
	不明なデバイス

内蔵 HDD 情報

左側のツリーで選択した内蔵 HDD の状態を表示します。



ドライブ	ドライブ番号を表示します。
全容量	HDD の容量を表示します。
温度	HDD の温度を表示します。
稼働時間	HDD の総通電時間を表示します。HDD の電源が再投入された場合は前回の値から加算されます。
状態	HDD の状態を表示します。 【状態とその対処】(6 ページ) 参照

※設定については、[【設定する】\(7 ページ\)](#) を参照

内蔵 HDD アイコンについて

アイコンの状態によって、内蔵 HDD の状態が分かります。

	正常動作
	リビルドターゲット
	エラー (ZHD4-UTXR シリーズの場合は、エラーまたは未接続状態)
	未接続 (ZHD4-UTXR シリーズの場合は、表示されません。)

状態とその対処

デバイス情報と、内蔵 HDD 情報の「状態」に表示されるメッセージとその対処を説明しています。

デバイス情報

メッセージ	意味・対処
HDD に問題が発生しています。	内蔵 HDD にエラーが発生しています。 接続 HDD の再起動や別の USB ポートに接続してお試しください。改善しない場合は、添付の取扱説明書を参照の上、HDD のフォーマットをお試しください。 ※フォーマットすると、HDD 内部のデータは消去されます。
装置温度が仕様範囲を超えました。	デバイスの温度が仕様の範囲を超えました。 危険な状態のため、直ちにデバイスの電源を切ってください。
情報取得に失敗しました。	情報取得制御に失敗しました。 接続 HDD の再起動や別の USB ポートに接続してお試しください。改善しない場合は、添付の取扱説明書を参照の上、HDD のフォーマットをお試しください。 ※フォーマットすると、HDD 内部のデータは消去されます。
リビルド実行中 (*%)	リビルド中です。「*%」はリビルド進捗率 (0 ~ 100%)
デグレード状態になりました。	ハードディスクが故障、または未接続の状態です。 添付の取扱説明書内【HDD 故障時の対応】を参照の上、対処してください。
RAID 崩壊状態になりました。	ハードディスクが故障、または未接続の状態となり RAID を維持することができない状態です。 添付の取扱説明書内【HDD 故障時の対応】を参照の上、対処してください。
準備中	一時的に本体内部でリビルド等を準備している状態です。しばらくすると他の状態に切り替わります。
RAID 状態取得に失敗しました。	RAID 状態取得に失敗しました。 本体の接続状態に問題がないか確認してください。
RAID レベル情報取得に失敗しました。	RAID レベルの情報取得に失敗しました。 本体の接続状態に問題がないか確認してください。
RAID 容量取得に失敗しました。	RAID 容量取得に失敗しました。 本体の接続状態に問題がないか確認してください。

内蔵 HDD 情報

メッセージ	意味・対処
HDD でエラーが発生しました。	HDD でエラーが検出されました。故障した HDD を交換してください。
HDD が検出できません。	HDD が取り付けられていません。または、故障で HDD が認識できません。
HDD でエラーが発生 (または未接続状態)	(ZHD4-UTXR シリーズの場合のみ) ・エラーが検出されました。故障した HDD を交換してください。 ・HDD が取り付けられていません。または、故障で HDD が認識できません。
HDD の温度が 65°C を超えました。	HDD の温度が 66°C 以上 69°C 以下となりました。 デバイスの電源を切ってください。
HDD の温度が 69°C を超えました。	HDD の温度が 69°C を超えました。 デバイスの電源を切ってください。
情報取得に失敗しました。	HDD 情報の取得に失敗しました。 接続 HDD の再起動や別の USB ポートに接続してお試しください。改善しない場合は、添付の取扱説明書を参照の上、HDD のフォーマットをお試しください。 ※フォーマットすると、HDD 内部のデータは消去されます。
リビルド実行中	リビルド実行中です。
準備中	一時的に本体内部でリビルド等を準備している状態です。しばらくすると他の状態に切り替わります。

Windows のイベントビューアーにも記録されます

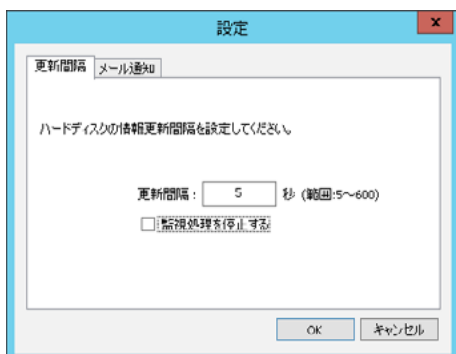
各種イベントログは、Windows の [管理ツール] → [イベントビューアー] → [Windows ログ] → [アプリケーション] に記録されます。(カテゴリ: アプリケーション、ソース名: IOZHDMONITORService で記録されます。)

設定する

メール通知設定など、DRIVE MONITOR の設定について説明します。



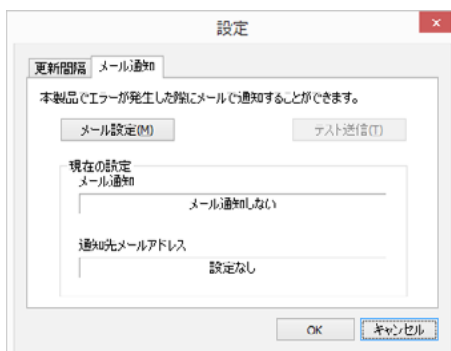
[更新間隔] タブ



対象機器のステータスを取得する監視動作の間隔を設定します。
更新間隔は、5～600 秒の間で設定します。(初期値：5 秒)

[監視処理を停止する] にチェックを入れると、本アプリの対象機器の監視自体をおこないません。

[メール通知] タブ



エラー発生時にメールで通知することができます。

メール設定	メール送信先などの設定をします。 【[メール通知設定]画面】(8 ページ) 参照
テスト送信	設定したメールアドレスにテストメール送信します。 正常にメール送信ができることを確認します。
メール通知	メール通知する / しないを表示します。
通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを表示します。

[メール通知設定] 画面



メール通知に関する詳細設定をおこないません。

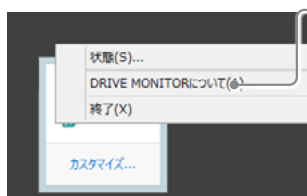
メール通知を行う	メール通知をおこなう場合にチェックします。
送信サーバーの設定	送信サーバーの設定をおこないません。 選択した認証設定により、それぞれの詳細設定をおこないません。
POP before SMTP の設定	[送信サーバーの設定]の[認証設定]で[POP before SMTP]を選択した場合に設定します。
SMTP AUTH 設定	[送信サーバーの設定]の[認証設定]で[SMTP AUTH(PLAIN)]、[SMTP AUTH(LOGIN)]、[SMTP AUTH(CRAM-MD5)]を選択した場合に設定します。
メールアドレスの設定	通知先・通知元のメールアドレスを入力します。 “(カンマ)区切りで、”を含む 255 文字以内で複数のアドレスを指定できます。

バージョン情報

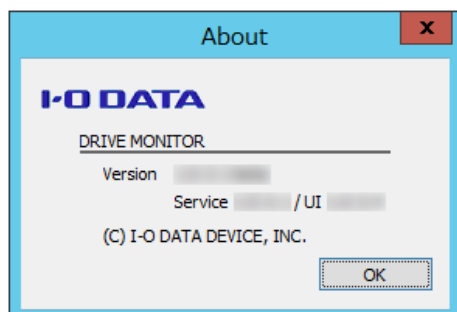
DRIVE MONITOR のバージョン情報が確認できます。



①タスクトレイのアイコンを右クリック



② [DRIVE MONITOR について] をクリック

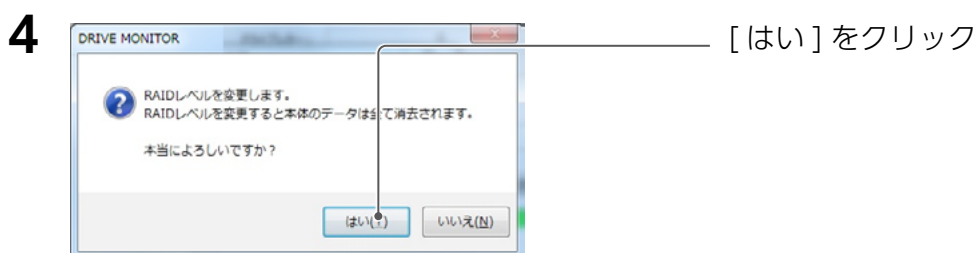
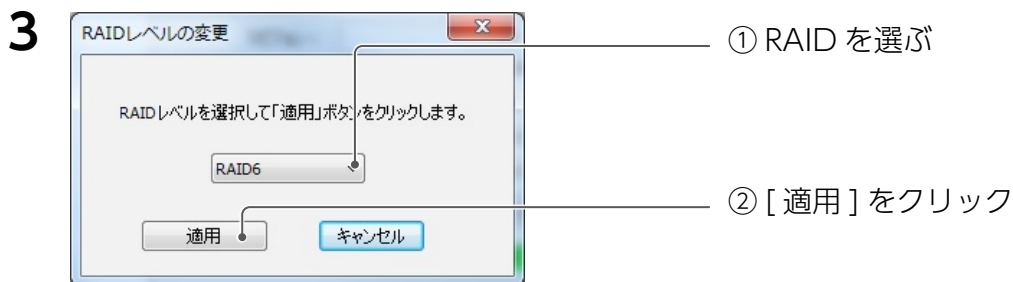
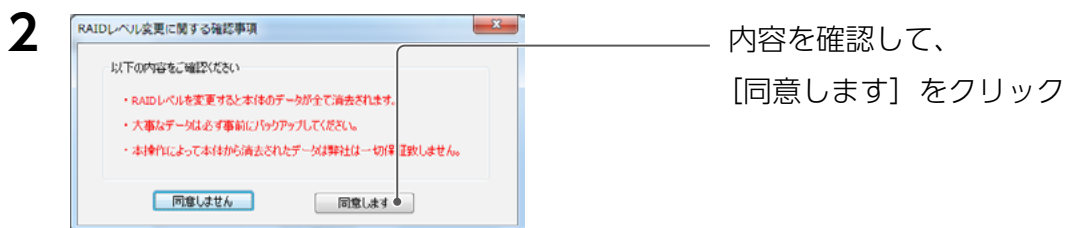
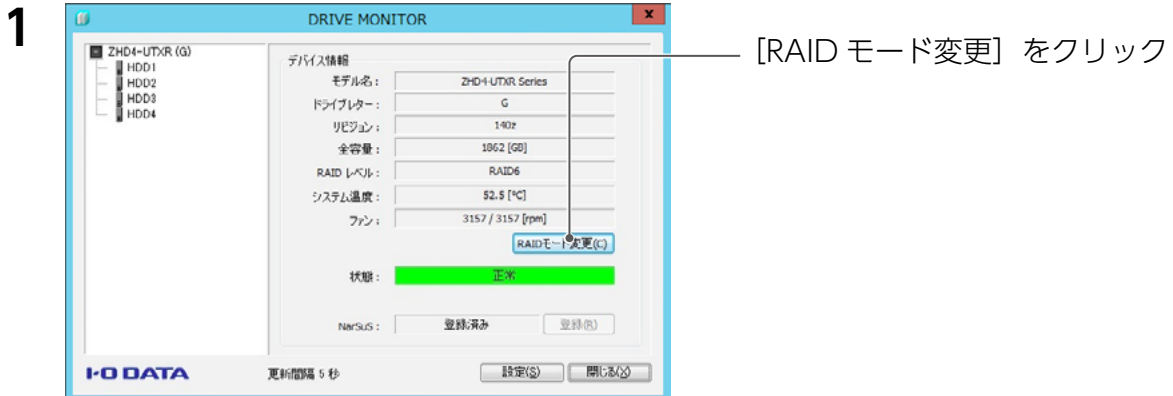


RAID を変更する

ZHD4-UTXR シリーズの場合、RAID を変更できます。

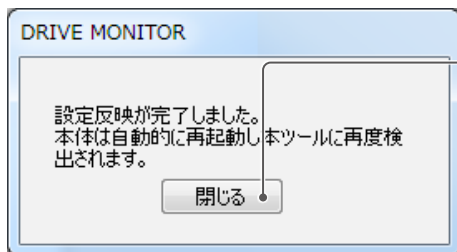
RAID を変更する場合のご注意

- RAID を変更するとデータは消去されます。
本製品に必要なデータがある場合は、先に別の HDD などにデータをバックアップしてください。
- 使用する RAID に設定したら、必ずフォーマットしてください。
別の RAID で使用していた本製品を、RAID 切り替え後、フォーマットせずにそのまま使用すると、故障の原因になります。



選択した RAID への変更を開始します。

5



[閉じる] をクリック

6

ZHD4-UTXR シリーズをフォーマットする

方法は、添付の取扱説明書をご覧ください。

※ HDL-H、XR、XV の各シリーズでお使いの場合は、接続しなおしてフォーマットしてください。

これで RAID の変更は完了です。

NarSuS に登録する

対象機器を NarSuS に登録する方法を説明しています。

NarSuS (ナーサス) とは

NarSuS は、24 時間 365 日、NAS や周辺機器を見守る安心サービスです。NAS や周辺機器にトラブルが発生したら、自動的に NarSuS データセンターに状態が送信されます。

NarSuS データセンターは、それを受けてユーザーにメールでトラブルをお知らせします。

画面に表示される対処方法にしたがって作業するとトラブル対策ができます。

詳しくは以下のサイトをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/ssp/nas/biznas/narsus.htm>

HDL-Z シリーズに対象機器を接続している場合

- あらかじめ、接続する HDL-Z シリーズを NarSuS に登録してください。

登録方法は【LAN DISK 管理マニュアル】をご覧ください。

- HDL-ZWS シリーズに対象機器を接続する場合、対象機器のみが NarSuS の監視対象となります。

※ HDL-ZWS シリーズは NarSuS に対応しておりません。

ご注意

- NarSuS のサービスを利用するには、接続した機器がインターネット接続されている必要があります。

DRIVE MONITOR のインストール時に NarSuS をインストールし、対象機器を USB 接続すると、以下の画面が表示されます。

※複数台の対象機器が接続されている場合、いったんすべて取り外し一台ずつ登録してください。

※登録にはメールアドレス（はじめて登録時）と、対象機器のシリアル番号 (S/N) が必要です。

1



NarSuS に登録したことがない場合に
クリック

※ NarSuS のユーザー登録と製品情報の登録をおこな
います

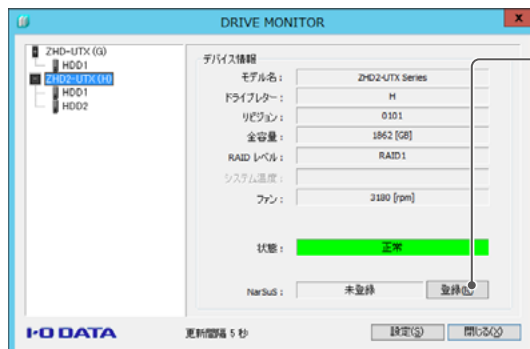
すでに他の製品を登録している場合に
クリック

※このあと、NarSuS にログインして、[製品追加登録]
から追加で登録してください。

上記画面が表示されない場合は、DRIVE MONITOR から表示します

- ① タスクトレイの DRIVE MONITOR アイコンをクリック

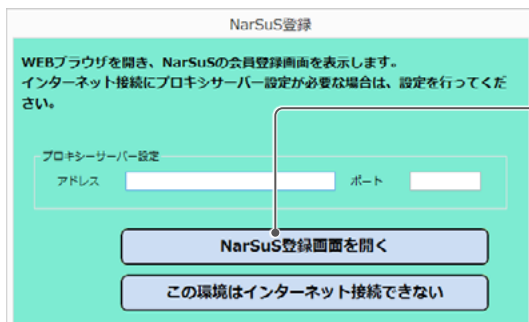
②



NarSuS の [登録] をクリック

※それでも表示されない場合は、対象機器を再接続してください。

2



[NarSuS ログイン画面を開く] をクリック

Web ブラウザーが起動し、ログイン画面が表示されます。

[プロキシサーバー設定]

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合

[【インターネットに接続できない場合の登録方法】 \(13 ページ\)](#) をご覧ください。

3 Web ブラウザー上の画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

4 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

※登録完了直後は、NarSuS データセンターに状態が送信されません。必ず Web ブラウザーを閉じて登録処理を完了させてください。

NarSuS 登録時に設定したメールアドレスに登録通知メールが送付されますので、保管してください。

以上で NarSuS 登録は完了です。

※ [【NarSuS のログイン方法】 \(15 ページ\)](#) 参照

ご注意

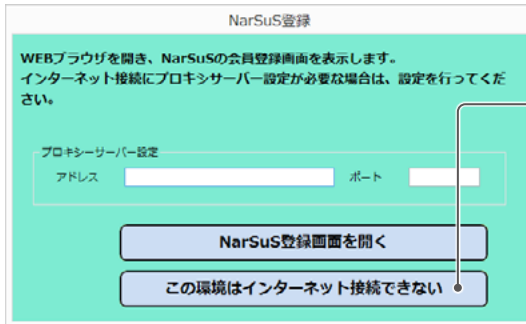
- 登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
 - ・NarSuS をインストールした機器がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LAN ケーブルが正しく接続されていること)。
 - ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること。
 - ・TCP/IP が手動設定の場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること。
 - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアして再度お試しください。

ご注意

- NarSuS 登録済みの対象機器をインターネットに接続されていない機器に接続すると、再び NarSuS 登録画面が表示されることがあります。この場合、以下のいずれかの処理をおこなってください。
 - ・接続する機器がインターネットに接続できる場合、対象機器をいったん取り外し、インターネット接続可能な状態にしてから再接続してください。
 - ・接続する機器がインターネットに接続できない場合、NarSuS 登録画面の [既に NarSuS 登録済みの製品] を選択し、利用コードを設定してください。(利用コードは、インターネット接続可能な環境から、NarSuS へログインし、登録済の対象機器を選択して、[製品詳細登録] を開くと確認できます。)

インターネットに接続できない場合の登録方法

1



[この環境はインターネット接続できない] をクリック

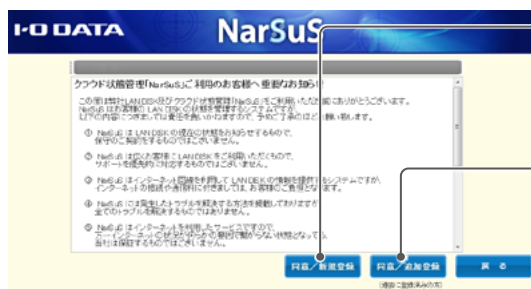


利用コード入力画面が表示されます。

2

インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
<https://www.narsus.jp/das/user-reg>

3



NarSuS に登録したことがない場合にクリック

すでに他の製品を登録している場合にクリック

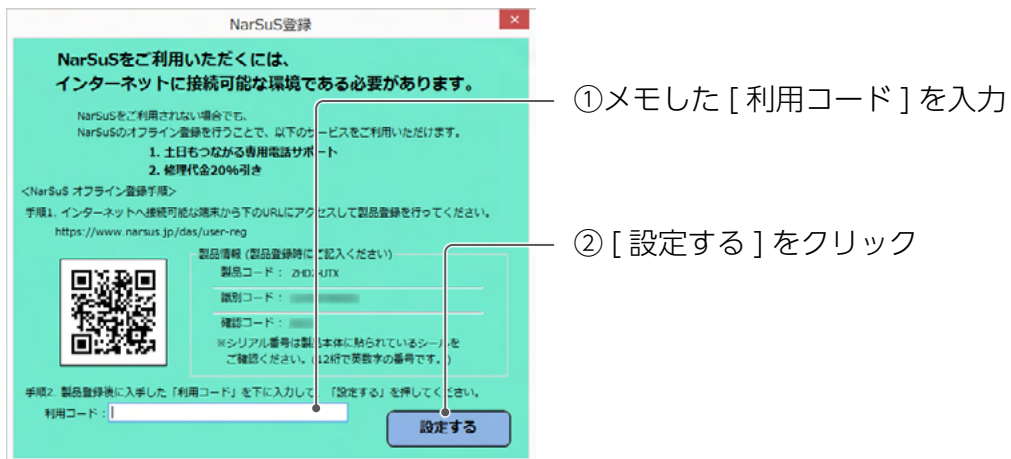
4

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※必要事項は手順 1 の「利用コード入力」画面に表示されます。

5

登録完了画面に表示された「利用コード」をメモする
※登録通知メールが送付されますので、保管してください。

6 (DRIVE MONITOR をインストールした機器での操作)



これで NarSuS 登録は完了です。

NarSuS のログイン方法

方法 1 以下 URL にアクセスしてください。

<https://www.narsus.jp/>

方法 2



NarSuS の利用方法について

ヘルプをご確認ください。

NarSuS へログイン後、[NarSuS のヘルプ] をクリックしてください。

NarSuS 設定画面

タスクトレイの NarSuS アイコン () をクリックすると表示されます。



NarSuS 設定	<p>プロキシの設定が必要な場合、[プロキシサーバー] にチェックをつけ、プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入力します。</p> <p>※設定内容は、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。</p>	
アップデート設定	自動アップデート設定	<p>最新の NarSuS アプリ、DRIVE MONITOR が公開されたときに自動でアップデートする機能に関する設定ができます。</p> <p>※標準で自動アップデートは有効です。</p> <p>※自動アップデート時に再起動を求められた場合は、再起動をしてください。</p>
	プログラム手動更新	<p>クリックすると、最新の NarSuS アプリ、DRIVE MONITOR の確認と更新ができます。</p>
	定義ファイル手動更新	<p>本製品では使用しません。</p>

※ HDL-Z シリーズでは一部画面表示が異なります。詳しくは、【LAN DISK 管理マニュアル】をご覧ください。

困ったときには

対象機器をつなぐ度に [NarSuS 登録] 画面が表示される

NarSuS 登録をおこなうと表示されなくなります。

NarSuS に登録しない場合は、NarSuS をアンインストールしてください。

●アンインストール方法

[コントロールパネル] を開き、[プログラムのアンインストール] から削除してください。

メール設定をしたのに、メールが届かない

エラー発生時にのみ送信されます。

[テスト送信] で確認できます。(【[メール通知](#)】[タブ](#)】([7 ページ](#)) 参照)

テスト送信でもメールが届かない場合は、メール設定をご確認ください。

NarSuS 画面で「通知が一定期間取得されていません」と表示される

接続機器のシャットダウンや省電力モード時に表示されることがあります。

また、接続機器のシャットダウン状態で、対象機器を取りはずした場合に表示されることがあります。

本アプリで対象の機器が表示されていることをご確認ください。

接続したハードディスクが、省エネモードにならない または、スピンドアップ / スピンドアウンを繰り返す

本ソフトをインストールした環境では、省電力機能はご利用いただけません。

(監視のためハードディスクにアクセスするため)

対象ハードディスクに対する省電力機能は無効にしてご利用ください。

ハードディスクの初期化に失敗する

本ソフトをインストールした環境では、初期化が正常におこなえない場合があります。

(監視のためハードディスクにアクセスするため)

この場合、一時的に監視を停止してお試しください。(【[設定する](#)】の【[更新間隔](#)】[タブ](#)】([7 ページ](#)) 参照)